

「火の用心だより」

第69号(令和2年11月)

発行：札幌市消防局予防部予防課

外出自粛、今のうちに年末の大掃除

今年の上半期は、こんろ火災が前年の約2倍となり、緊急事態宣言による自宅での調理機会の増加がひとつの要因と考えられています。

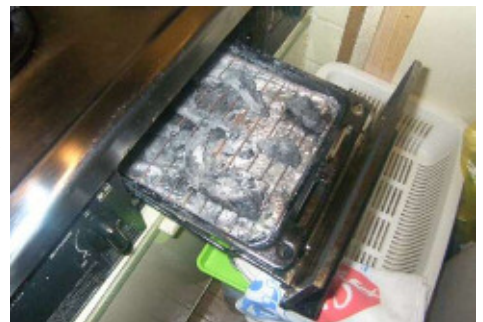
市内では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染リスクを回避できない場合の不要不急の外出自粛が求められていますので、こんろ火災に注意するとともに、この機会に年末の大掃除を済ませてみてはいかがでしょうか。大掃除は火災予防にもつながります！

●こんろの油よごれ



魚焼きグリルの油よごれに火がついて、火災になる危険があります！

五徳、グリル、換気扇、こんろまわりの油汚れは、定期的に清掃しましょう！



●コンセントのほこり



コンセントにほこりがたまっていると、トラッキング現象により、火災になる危険があります！大型の家

電、家具の裏や湿気のあるコンセント周辺は定期的に清掃しましょう！



●吸い殻の片づけ



吸殻をためておくことは危険です。灰皿に水を張っておくか、吸い殻を水に浸してから捨てましょう。

また、たばこ火災は、小さな火種から、ゆっくりと燃え広がるので、気づきにくい特徴があります。



消毒用アルコールの安全な取扱いについて

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、手指の消毒等のため、消毒用アルコールを使用する機会が増えています。一般に消毒用アルコールの物性として、次の特徴があります。

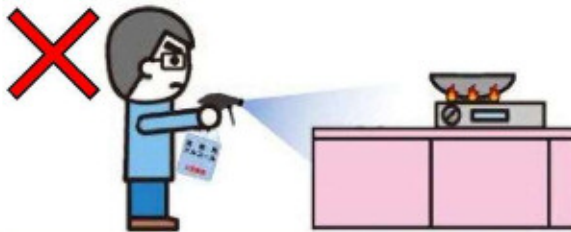
アルコールの火災予防上の特徴

- 火気に近づけると引火しやすい。
- アルコールから発生する可燃性蒸気は、空気より重く、低いところにたまりやすい。

このため、ご家庭や事業所などにおいて、消毒用アルコールを使用する場合、下記に示す火災予防上の一般的な注意事項に十分注意の上、安全に取り扱ってください。

⚠ 火災予防上の一般的な注意事項 ⚠

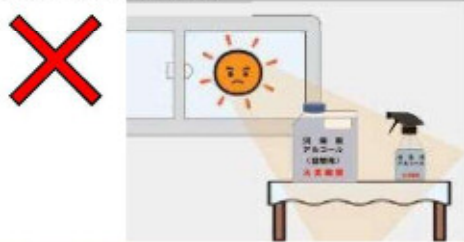
- ☆ 消毒用アルコールを使用するときは、火気の近くで使用しないようにしましょう。



- ☆ 消毒用アルコールを容器に詰め替える場合は、漏れ、あふれ又は飛散しないよう注意しましょう。また、詰め替えた容器に“消毒用アルコール”や“火気厳禁”などの注意事項を記載してください。



- ☆ 消毒用アルコールの容器を設置・保管する場所は、直射日光が当たる場所や高温となる場所は避けましょう。



- ☆ 消毒用アルコールの容器を落下させたり、衝撃を与えることのないように気をつけてください。



- ☆ 室内の消毒や消毒用アルコールの容器詰め替えなどにより、アルコールの可燃性蒸気が滞留するおそれがある場合には、通気性の良い場所や換気が行われている場所で行いましょう。また、密閉した室内で多量の消毒用アルコールの噴霧を行うことは避けましょう。



出典：消防庁ホームページ

市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPPORO